

# 地域包括ケアシステムの意義と課題 ：池田省三氏の遺訓

- 2014年7月17日
- 池田省三記念介護講演会
- 慶應義塾大学
- 田中 滋

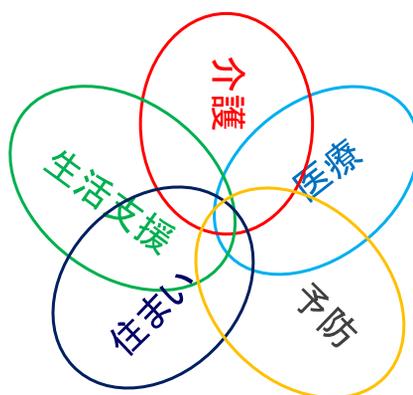
## はじめに

- 上位の理念：介護保険法第一、二、四条
- 地域包括ケアシステムの目的
  - ケア付きコミュニティの構築
  - 在宅限界上昇
  - 要支援者の自立復帰支援
- 鍵となる概念 =統合=基本方針(ビジョン)共有
- 主たる手段：既存資源のネットワーキング
- スタートが難しければ⇒危機感

## 現代社会

- 科学技術の進歩
- 資本主義：自由・自律
- 豊かさ：都市衛生・栄養・知識 etc.
- 社会保障制度：防貧→アクセス支援
- 医学の発達・医療体制の整備
- 新たな依存人口
  - 慢性疾患・日常生活支障・急性増悪リスク
  - 健康寿命後の余命
- 人口の年齢構成

## 地域包括ケアシステムVer1.0 「5輪の花」図(2008)



## 背景にある考え方：4つのヘルプ

- 自助：意欲と参加・自己能力の育成と活用  
市場経済の利用
- 互助：インフォーマルな自発的助け合い
- 共助：自助の連帯制度化
- 公助：弱者保護

## 4つのヘルプ：財源 or サービス

- 財・サービスの種別ではない
- 財・サービス生産には費用
- その費用を誰が負担するか
  - 自助：利用者本人・同一家計 cf. 「家族」
  - 互助：提供者の資金・労力・工面
  - 共助：社会保険
  - 公助：政府・自治体、ひいては税

## 地域包括ケアシステム構築

- 自助①: 心構え・セルフマネジメント・養生
- 自助②: 事業体の力=それぞれの包括性
- 自助③: 住まい、取り分け住環境
  
- 互助①: 自助支援と社会参加支援
- 互助②: 認知症見守り・ICT

## 地域包括ケアシステム構築

- 共助①: 手遅れへの手当→悪化防止・  
リハビリテーション(「再び」生活に「適した」)
- 共助②: 圏域を支える事業と支払方式
- 共助③: 機能に応じた単価
- 共助④: “福祉人材”区分

## 地域包括ケアシステム構築

- 公助①: 圏域のマイクロマネジメント  
地域ケア会議
- 公助②: 地域のマクロマネジメント  
既存資源のネットワークング
- 公助③: 互助とニーズのマッチング

## 地域包括ケアシステムVer3.2 「植木鉢」図(2013)



## 私たちの顧客は誰？ 「ビジネスモデル」の認識

- 医療・介護の対象者
- 負担者
- 主力商品を買ってもらえるか？
  - 商品：進化した医療・介護提供体制を支える社会保障制度
  - 「顧客に納得してもらえるか」
  - 商品の効能は何か

## 総括

- 理念の共有：地域で働く＋地域の活性化
- 地域ごとの発達経路・“ローカル・ルール”
- 覚悟：首長・経営者・団塊の世代住民